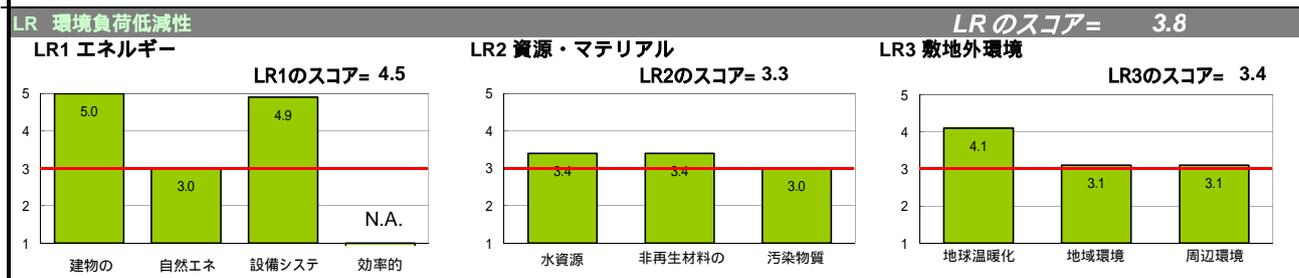
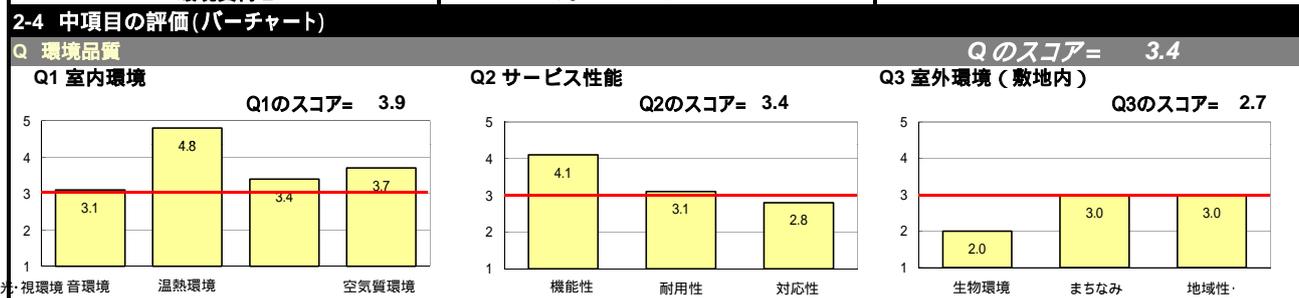
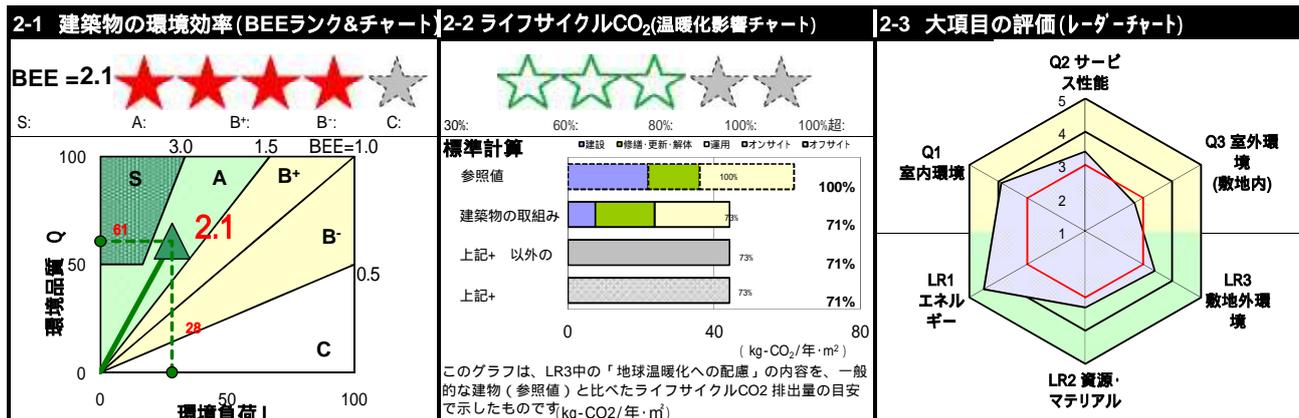


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ブランドシティ淵野辺レジデンス	階数	地上10F
建設地	相模原市中央区淵野辺1丁目133-1	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	650 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2012年8月8日
敷地面積	9,837 m ²	作成者	(株)東急設計コンサルタント
建築面積	3,477 m ²	確認日	2012年8月8日
延床面積	20,483 m ²	確認者	(株)東急設計コンサルタント

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他
敷地外周を重点的に緑化するとともに、西側低層戸建て住宅に配慮し、壁面を極力後退した。既存樹木を移植保存し、土地景観の継承を行った。道路に面して歩道状空地を設置し安全・安心の街づくりに寄与するものとした。	マンション内のコミュニティー形成を促す為の施設として、パーティールウンジ(集会室)、キッズルーム、センターパティオ(中庭)を設置。 災害対策として防災備蓄倉庫をの設置。
Q1 室内環境 品確法の省エネ対策等級4を取得。 庇、カーテンによる昼光制御。	Q2 サービス性能 品確法の劣化対策等級3を取得。 非常用発電機を設置し、災害時の電源を確保している。
Q3 室外環境(敷地内) 既存樹木(ヤマザクラ1本、イロハモミジ2本)を移植保存し、土地景観の継承を図る。 中高木の緑化による日陰の形成、低木・地被による地表温度の上昇抑制、敷地内の温熱環境の向上を図る計画とした。	LR3 敷地外環境 建物は、街並みに調和する色彩とする。
LR1 エネルギー 品確法の省エネ対策等級4を取得。 潜熱回収型給湯器を採用。	LR2 資源・マテリアル 解体の際、内装材と設備が比較的容易に、取り外せる計画としている。 ハロン消火剤を使用しない計画としている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Building Environmental Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される